

1 肺がんってどんな病気？

肺は胸の左右に一对あり、右肺は3つの、左肺は2つの「肺葉」に分かれます。口や鼻から吸った空気は、気管、さらに気管支を経て肺に入ります。気管支は肺の中で枝分かれを繰り返して、末端はブドウの房の形をした小さな袋状の「肺胞」となります。この肺胞で、全身の血液中の二酸化炭素と空気中の酸素との交換が行なわれます。

肺がんは気管、気管支、肺胞の細胞が何らかの原因でがん化したものです。肺は全身の血流が集まっているため、がんは血液の流れによって遠く離れた臓器にも転移しやすいという特徴があります。また、リンパ液の流れによって胸郭（胸部の骨格）内のリンパ節から鎖骨上窩（鎖骨上部のくぼみ）、さらには頸部のリンパ節へ転移を起こします。まれに気道（気管・気管支）を通して他の肺葉に転移（肺内転移）を起こす肺がんも見られます。

肺がんは、全体の80%強を占める「非小細胞肺がん」と、「小細胞肺がん」の2つの型に分けられます。非小細胞肺がんの中に、女性患者の70%と男性患者の40%を占める「腺がん」、40歳以上の男性喫煙者によく見られる「扁平上皮がん」、急速にがん細胞が増える「大細胞がん」があります。

「腺がん」は、気管支の奥のほう（末梢部分＝肺野部という）にでき、症状が出にくいいため、早期の発見が難しいやっかいながんです。非喫煙者の患者が多く、大気汚染などが影響していると考えられています。「大細胞がん」も肺野部にできます。

「扁平上皮がん」は肺門部（太い気管が細かく分かれて、肺に入っていくあたりで、肺の中心部にあたる）の太い気管にできます。

「小細胞がん」は小さながん細胞が肺門部にできるもので、進行が速く、転移しやすい危険ながんです。

●肺がんの分類

	組織分類	多く発生する場所	特徴
非小細胞肺がん	腺がん	肺野部	女性に多い 症状が出にくい
	扁平上皮がん	肺門部	喫煙との関係が深い
	大細胞がん	肺野部	増殖が速い
小細胞肺がん	小細胞がん	肺門部	喫煙との関係が深い 転移しやすい

●肺の構造

